

年度 2008 学期 前期	曜日・校時 木 2	必修選択	必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	フランス語 French			
対象年次 2年次	講義形態 演習	教室		
対象学生(クラス等) 2E7~10	科目分類 外国語科目(フランス語)			
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:橋本千鶴子 / Eメールアドレス:chizu_hashi@ybb.ne.jp /研究室:非常勤講師室 /TEL: /オフィスアワー:木曜日 14:00-14:30 それ以外はメール連絡などで設定する。				
担当教員(オムニバス科目等)				
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>授業のねらい:フランス語で習得した基礎を発展させて、欧州言語学習基準枠の発見段階A1レベルに相当するフランス語運用能力を身に付けることを目標に、聞く・話す・読む・書くのグローバルな学習を進めていく。教科書にとどまらず、音楽、テレビ録画や映画の断片、インターネット等の資料など、いろいろな生素材を導入し、フランス語を生きた言葉として、現実的・実践的に取り扱う。さらに、相手の文化を学ぶだけではなく、自らの文化とつねに比較することにより、相対化していく訓練も取り入れ、それらを口頭、筆記練習につなげていく</p> <p>授業方法:教科書を中心に、単元ごとに明確な獲得目標に沿って、語彙・文法・表現・文化の学習をする。</p> <p>授業到達目標:自分自身について、趣味・日常生活に関する話をし、相手にもたずねることが出来る。家族について話し、相手にも質問が出来る。時間表現を理解して使うことが出来る。過去の出来事や行為を語れる。電話での会話の表現を覚える。したいことや、しなければならぬことを表現できる。フランスの年中行事を知る。</p>				
<p>授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>授業内容(概要) 教科書の単元に沿って以下の内容を学習する。</p> <p>第1回 何をするかたずねる・答える 第2回 不規則動詞 faire, 指示形容詞・否定形 第3回 趣味・余暇の過ごし方について話す 第4回 中性代名詞 en, 頻度の副詞 第5回 家族について話す 第6回 過去の出来事について語る 第7回 所有形容詞・複合過去(1) 第8回 どこに行くかたずねる・答える 第9回 どこに行ったか話す 第10回 動詞 aller, finir, 複合過去(2) 第11回 できることとすべきことを言う 第12回 誰かを誘う・会う約束をする 第13回 動詞 vouloir, devoir, 主語代名詞 On 第14回 まとめと自己評価 第15回 まとめと口頭試験</p>				
キーワード	実践的 コミュニケーション中心			
教科書・教材・参考書	スピラル / 日本人初心者のためのフランス語教材 (ピアソン・エデュケーション) 辞書 (仏和辞典あるいは電子辞書)			
成績評価の方法・基準等	定期試験(中間・口答試験を含む期末)70% 小テストや課題20% 授業への積極的参加状況10%等を総合的に評価する。			
受講要件(履修条件)				
本科目の位置づけ / 学習・教育目標				
備考(準備学習等)				